

平成 27 年 8 月 10 日

長寿福祉課
市役所内線番号 2834
電話（ダイヤルイン）34-5439

安心・安全“なら”見守りネットワークの実施について

奈良市では、認知症等が原因で行方不明になる高齢者等を対象に、安心・安全“なら”見守りネットワークを実施します。ネットワークに登録された方で、希望者にはGPS端末の貸し出しと、QRコードシールを配布致します。（QRコードのシールは奈良県で最初）

1. 目的

近年、認知症等を原因とした高齢者の行方不明事案が深刻な問題となっており、今後も高齢者人口の増加に伴う、認知症有病者数も増加し一層高齢者の行方不明問題が深刻になります。この問題に対処するため、行方不明高齢者を早期発見する体制を整備し、高齢者の方が認知症になっても、住みなれた地域で安心して生活していくための地域包括システムの一環として安心・安全“なら”見守りネットワークを実施します。

2. 開始時期 平成 27 年 9 月 1 日

3. 申請場所 長寿福祉課及び各地域包括支援センター（ただしGPS端末とQRコードシールは長寿福祉課のみ）

4. 申請者

親族・後見人・保佐人です。申請時には申請者の身分を証明できるものを提示して頂きます。なお後見人・保佐人については、身分を証明できるものとして、法務局が発行する「登記事項証明書」が必要です。本人写真は必須とし、概ね1年以内のものとしします。（奈良県内で、後見人、保佐人を申立されている人数は373名です。市町村別のデータはありません。）

5. 事業内容

<安心・安全“なら”見守りネットワーク>

ネットワークに事前登録届出及び個人情報利用同意書により届出を行う事で、認知症等の原因により行方不明になった高齢者を早期に発見し、保護できるように関係機関の支援体制を構築し、高齢者の安全とその家族等への支援を図ります。

<GPS端末の利用>

登録者のうち希望される方は、GPS端末の申し込みをしていただきます。GPS端末を活用することにより、居場所を検索・特定し、より早期発見に努め事故の防止を図ります。費用は、加入料金と付属部品は市で負担します。主な費用内訳は次のとおりです。

市負担

料金名	金額
加入料金	本体・バッテリー1個 5,000円(税別)
付属品代金	標準充電器 2,000円(税別)

利用者負担

料金名	金額
基本料金	1名につき 月額500円(税別)
位置情報提供料金	ポータル応答利用の場合 利用1回につき 200円(税別)
	インターネット利用の場合 利用回数が1か月に2回までは無料 越える場合は1回につき 100円(税別)
現場急行料金	利用1時間につき 10,000円(税別)
交換用バッテリー代金	1個につき 1,500円(税別)
	別途送料 600円(税別)

料金の支払い方法は口座振替支払またはクレジットカードで支払います。基本料金(月額)は6ヶ月分の前払いで、月の途中での契約の基本料金は日割りになり、位置情報提供料金、現場急行料金は原則翌月の支払いです。

<QRコードシール>

シールは、持ち物や、靴、帽子など身に着けるものに貼り付けることで徘徊時に発見者の方がQRコードを読み取り連絡をしてもらうことで、早期発見につながります。

登録された方の希望者には1名につき1シート10枚を年間2シートまで配

布いたします。

6. 予算	ネットワーク	150 千円
	G P S 端末等	1,134 千円

7. 今までの状況、今後のスケジュールなど

国が示す認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）の認知症の人の意思が尊重され、できる限り住みなれた地域のよい環境で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現を目指すため、認知症に関する正しい知識と理解を持って、地域や職場で認知症の人やその家族を手助けする、人材育成を目的とした「認知症サポーター養成講座」を実施しております。平成 20 年度から平成 26 年度末で 8,151 名が受講されました。平成 27 年度は 6 月末現在で既に 451 名が受講されました。今までに金融機関や企業や小中学生、大学生や自治会等の方が受講されました。今後受講された各種団体に見守りネットワークの協力機関として登録してもらえるよう働きかけていきます。なお 8 月 27・28 日には正庁で奈良市全職員（教職員・技能労務職員・臨時職員・嘱託職員は除く）を対象に約 2,300 名が 6 回に分かれて受講する予定です。

8. 他市の状況（全国、近畿、中核市、県内）

QR コードシールは近畿では大阪府東大阪市と兵庫県小野市が実施されています。